



わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

沿線の想いを込めたやさしい灯りが飾る車窓
各駅を幻想的に彩る、わ鐵の冬の風物詩

日本一の鉾都と呼ばれた足尾町（現・日光市）の間藤駅と桐生駅を結び、現在は風光明媚な車窓とレトロな情景、トロッコ列車の運行などで人気を集めるわたらせ渓谷鐵道。

「わ鐵」の通称で愛される同鉄道の冬の風物詩として親しまれているのが、地元有志を中心としたボランティアの手で灯される「わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション」だ。

春から秋にかけては沿線に咲き誇る桜や花桃、豊かな緑の山々、見事に色づく紅葉など沿線の絶景を求め多くの観光客で賑わう一方、客足が伸び悩む冬季に少しでも足を運んでもらおうと、平成16年度の冬にスタートし、今冬で22回目を迎えた。

下新田駅（相生町）では桐生の景観を象徴するノコギリ屋根や夏のまつりをモチーフとし、花輪駅（みどり市東町）では地元出身の作詞家・石原和三郎にちなみウサギとカメの電飾を施すなど、駅ごとに趣向を凝らしたイルミネーションは、地域のPRにも一役買っている。開催期間中、17時以降の点灯時間帯に走行す

第22回わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

令和7年12月7日

令和8年2月28日までの毎日
17時～各駅最終列車通過まで

○点灯駅
わたらせ渓谷鐵道・桐生駅～間藤駅
間の上神梅駅を除く16駅
○問合せ
わたらせ渓谷鐵道株式会社
TEL.0277-73-2110
(平日9:00～17:00)

*時刻表やツアー企画等、詳細はわたらせ渓谷鐵道ホームページ
(<https://www.watatesu.com/>)をご覧ください。

る鑑賞に適した普通列車には「わたらせ渓谷イルミネーション号」の愛称をつけて運行。特に桐生方面への上り列車では駅発着時に室内灯を消灯し、各駅自慢のイルミネーションを車内からクリアに鑑賞できる。期間中の週末を中心に往復の鉄道運賃とお弁当をセットにしたお得なツアーも催行され、遠方からも多くの観光客を呼び込むなど、沿線の冬を象徴する名物として脚光を浴びている。

「寒い時期に訪れてくれるお客様に少しでも楽しんでもらいたい」という地元の想いを結集し、闇夜の車窓に彩りを添えるイルミネーション。地域と鉄路への愛に満ち溢れた灯りが、冬のわ鐵を訪れる人々を温かく迎え入れる。